

情報公開用文書（単施設研究用）

西暦 2026年 3月 14日 作成
(第1版)

研究課題名	当院における尿路結石に対する経皮経尿道的同時結石除去術(ECIRS)の有効性についての検討
研究の対象	尿路結石の患者様で、2026年2月1日から2028年3月31日までの間に経皮・経尿道的同時結石除去術（ECIRS）を受けた方を対象とします。
研究の目的	尿路結石の手術療法において、経尿道的尿路結石除去術（TUL）広く行われていますが、大きな腎結石や嵌頓する尿管結石では手術が複数回必要となったり、長時間手術につながるものが課題とされています。近年ではそれを克服する治療法として経皮経尿道的同時結石除去術（ECIRS）が行われることが増えてきており、当院での2026年2月より導入しております。ECIRSは経皮的腎砕石術（PNL）とTULを同時に併用することで多方向のアプローチが可能となり、残石率の低下、手術時間の短縮などが期待されています。一方で複数術者・複数デバイスを使用する高度な手技であり、出血や尿路感染症などの手術前後での合併症の発生率は一般的に高いとされています。この治療法の国内における実臨床でのデータ蓄積は十分とは言えないため、本研究では有効性と安全性を検討し今後の診療の質向上に役立てることを目的としています。
研究の方法	当院でECIRSを行った尿路結石患者様の患者背景、結石除去率(stone free rate)、手術時間、出血量(Hb低下)、発熱性尿路感染などの合併症に関して記述統計的にまとめます。いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究の期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦 2028年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の種類	【試料】 <ul style="list-style-type: none"> 患者様の背景・身体所見（年齢、性別、既往歴、混濁尿の有無、BMIなど） 検査データ（結石の局在、大きさ） 結石除去率、手術時間、出血量、術後合併症の有無、術後画像（KUB） 【情報】診療録から以下の情報を収集します。
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との資料・情報の授受はありません。

<p>個人情報の管理</p>	<p>検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるように対応表と呼ばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありません（ので、当院外の期間が個人を特定することはできません。）</p>
<p>試料・情報の管理 について 責任を有する者</p>	<p>研究責任者：横浜南共済病院 泌尿器科 山下大輔</p>
<p>利益相反</p>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人との関係を含むものです。本研究では資金提供を受けておらず、利益相反もありません。</p>
<p>研究組織</p>	<p>【研究機関と研究責任者】 横浜南共済病院 泌尿器科 （研究責任者）山下大輔</p>
<p>本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記の連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問い合わせ先 〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 電話 045-782-2101（代表） （平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで） FAX 045-701-9159 連絡先対応者 泌尿器科 医長 山下大輔 *お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	